

せいわにし 学校だより

令和6年8月30日（金）
伊賀市立成和西小学校 No. 13
伊賀市大内624番地
<http://www.iga.ed.jp/seiwanishi-e/>

ぜんこくがくりよく がくしゅうじょうきょうちょうさ ねん けっか こうさつ 全国学力・学習状況調査（6年）の結果と考察

4月18日（木）に実施した全国学力学習状況調査の結果について報告します。

国語科、算数科で「全国と比べて上回っている」という結果でした。学習状況調査に向けて、6年生の子どもたちが、毎日の学習をしっかりとがんばってきた成果だと思います。また、楽しくわかる授業づくりに努めるとともに、子どもたちのがんばっていることを認めて励まし、仲間のすてきなところを見つけることで、一人一人の自尊心を高める活動をしてきたことが今回の結果につながったと考えます。

また、ご家庭においても「家庭学習強化月間」「生活習慣チェックカード」の取組に協力いただき、お子さんが家庭学習をするときに励ましの声かけをしていただいたことが、学力向上を下支えする大きな力となっています。いつもご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。

学力向上のためには、1年生から6年生まで切れ目のない学力の積み上げが大事です。学校では、全国学力学習状況調査の結果を分析し、できたところとできなかったところを把握します。

そして、引き続き学力向上に向けて基礎基本の定着と既習内容の復習に力を入れるとともに、授業改善、指導方法や教材・教具の工夫、タブレットPC等のICT機器の効果的な活用法について研究を深めることで、児童一人一人の学習意欲を高め、知識・技能、思考力・判断力・表現力等を伸ばす取組をさらに進めていきたいと考えています。

がくりよくちょうさけっか 1 学力調査結果から

こくごか ◆国語科

ぜんたい ないよう
(全体の内容について)

- ・「話すこと・聞くこと」と「書くこと」の力がついている。
- ・「読むこと」の力が弱い。

もんだい ないよう
(問題の内容について)

①力がついているところ

- ・目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討する。
- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討したり、明確にしたりする。



- ・話し言葉と書き言葉との違いに気付く。
- ・文の中における主語と述語との関係を捉える。
- ・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する。
- ・情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う。

②弱いところ

- ・目的や意図に応じて、事実と感想、意見を区別して書くなど自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。
- ・登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉える。
- ・日常的に読書に親しみ、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気付く。

◆算数科

(全体の内容について)

- ・「数と計算」「図形」の力がついている。
- ・「変化と関係」の力が弱い。

(問題の内容について)

①力がついているところ

- ・問題場面の数量の関係を捉え、式に表す。
- ・数量の関係を□を用いた式に表す。
- ・除数が小数である場合の除法において、除数と商の大きさの関係について理解している。
- ・直方体の見取り図について理解し、かくことができる。
- ・円グラフの特徴を理解し、割合を読み取る。
- ・球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表す。
- ・速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察する。
- ・二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理する。

②弱いところ

- ・計算に関して成り立つ性質を活用して計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述する。
- ・速さの意味について理解している。
- ・道のりが等しい場合の速さについて時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する。
- ・折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述する。
- ・示された情報を基に表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうか判断する。



がくしゅうじょうきょうちようさ じどうしつもんし
2 学習状況調査の児童質問紙から

ぜんこく くら わりあい たか ないよう こうもく ぜんこくへいきん たか けっか
 (全国に比べて割合が高くなっている内容) → ほとんどの項目で全国平均よりも高い結果です。

質問内容	全国との差
1 朝食を毎日食べている。	+6.3
2 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。	+17.1
3 自分には、よいところがあると思う。	+15.9
4 先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う。	+10.1
5 人が困っているときは、進んで助けている。	+7.3
6 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。	+18.9
7 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。	+7.9
8 人の役に立つ人間になりたいと思う。	+4.1
9 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。	+24.2
10 友だち関係に満足している。	+0.6
11 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることが多い。	+8.3
12 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫している。	+19.3
13 新聞を読んでいる。	+5.0
14 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。	+16.5
15 5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、自分のペースで理解しながら学習を進めることができた。	+14.5
16 5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、分からないことがあった時に、すぐ調べることができた。	+7.9
17 5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、楽しみながら学習を進めることができた。	+5.7
18 5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる。	+10.2
19 5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができた。	+12.5
20 5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、友だちと考えを共有したり比べたりしやすくなった。	+13.9
21 5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、友だちと協力しながら学習を進めることができた。	+12.9

2 2	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいた。	+9.8
2 3	5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。	+3.7
2 4	5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた。	+15.7
2 5	学級の友だちとの話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている。	+5.3
2 6	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。	+19.2
2 7	授業で学んだことを次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができると思う。	+8.0
2 8	先生は、授業やテストでまちがえたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれると思う。	+3.8
2 9	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。	+10.4
3 0	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。	+15.8
3 1	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。	+17.5
3 2	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。	+3.4
3 3	国語の勉強は好きである。	+13.0
3 4	国語の勉強は大切だと思う。	+5.5
3 5	国語の授業の内容は、よく分かる。	+13.7
3 6	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。	+6.8
3 7	国語の授業で、違う点や似ている点を意識したり、図で示したりしながら、情報を整理している。	+5.1
3 8	国語の授業で、目的に応じて、話すために集めた材料をいくつかのまとまりに分けたり結び付けたりしながら、伝える内容を考えている。	+20.0
3 9	国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書いている。	+16.8
4 0	国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目している。	+7.2
4 1	算数の勉強は好きですか。	+5.7
4 2	算数の勉強は大切だと思う。	+5.4
4 3	算数の授業の内容は、よく分かる。	+9.5
4 4	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。	+5.9
4 5	算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える。	+8.4

46	算数の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしている。	+11.4
47	算数の授業で学習したことを今後の学習で活用しようとしている。	+15.4
48	理科の勉強は好きである。	+8.1
49	自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問をもったり、問題を見いだしたりしている。	+8.5
50	理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている。	+6.0
51	英語の勉強は好きである。	+14.0
52	英語の勉強は大切だと思う。	+7.9
53	英語の授業の内容は、よく分かる。	+21.7

(全国に比べて割合が低くなっている内容)

質問内容	全国との差
1 健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを普段の生活に役立てている。	-7.3
2 将来の夢や目標をもっているか。	-7.4
3 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表した。	-9.3
4 授業や学校生活では、友だちや周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。	-8.2

【 成 果 】

①学力の向上

「国語・算数の勉強は好きである」「国語・算数の勉強は大切である」「国語・算数の授業の内容はよく分かる」などの項目は、全国平均を上回っています。また、「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う」「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え工夫している」「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげている」については、全国平均を大きく上回っています。これは、児童が授業に前向きに取り組み、学習への意欲が、たいへん高い結果と考えます。

そして、15～21の「5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器の活用」の項目についても、全国平均を上回っています。これは、タブレットPCなどのICT機器を授業や家庭で積極的に活用したことによる成果だと考えます。

②人権・同和教育の充実

「自分にはよいところがある」「先生は自分のよいところを認めてくれていると思う」「人が困っているときは、進んで助けている」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」などの項目が、全国平均を上回っています。これは、本校の人権教育カリキュラムに基づく人権教育や、お互いのすてきなところを見つけ合うなどの仲間づくりに関わる取り組みがうまく機能し、自分の考えを安心して発表でき、友だち関係が良好であることを表していると考えます。

③キャリア教育の推進

「人の役に立つ人間になりたいと思う」「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」「学校生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見の良さを生かして解決方法を決めている」「学級活動における学級での話し合いを生かして、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる」などの項目が、全国平均を上回っています。このことから、子どもたちは自分の目標をもち、自分たちの生活をより良くするために話し合う力や自分がすべきことを理解して、自主的に行動する力がついてきていると考えます。

【2学期以降の取組について】

- 学習規律を再度見直し、音読、漢字、計算練習など、基礎・基本の定着に力を入れる。
 - 学力調査結果から、定着が弱いところを中心に、前年度及び1学期の既習事項を復習する。
 - 「めあて（その授業で何を学ぶのか、何ができるようになるのか）」と「ふり返り（何がわかったのか、どこがわからないのか、もっと知りたいことなど）」を充実する。
 - ペア・グループ学習やタブレットPCなどのICT機器を有効に活用したり、教材・教具を活用したりすることで、お互いに学び合い学習意欲を高める指導方法を工夫する。
 - 「学び場、ワークシート（三重県教育委員会作成）」プリントを使って復習する。
 - 家庭学習と家庭読書をさらに充実させる家庭学習強化月間に今年も取り組む。
- （※運動会終了後、10月に実施します。詳細は、後日お知らせします。）

